防災・減災につながる児童福祉施設の避難訓練について

花園大学　　正会員　○千田　眞喜子

1．はじめに

児童福祉施設最低基準（厚生労働省，2011）によると，「児童福祉施設においては，軽便消火器等の消火用具，非常口その他非常災害に必要な設備を設けるとともに，非常災害に対する具体的計画を立て，これに対する不断の注意と訓練をするように努めなければならない．前項の訓練のうち，避難及び消火に対する訓練は，少なくとも毎月一回は，これを行わなければならない.」と決められている．防災・減災につながる避難訓練を目指し，本研究では児童福祉施設の避難訓練の状況を調査・検討することを目的とする．

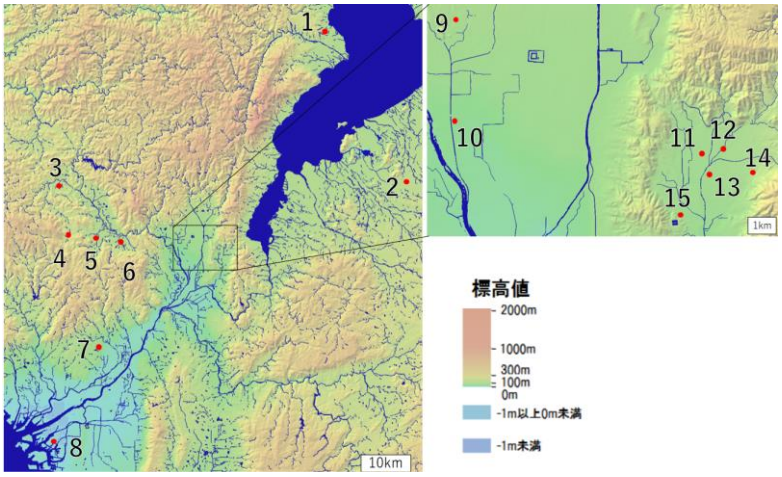

図１　調査した児童福祉施設と標高，河川・海・山との位置関係（デジタル標高地形図（国土地理院地図）を加工して，Site No.，文字等を追記して作成）．

2．研究手法

調査対象の児童福祉施設の位置を**図１**に示し，地域・地形の特徴を**表１**に示した．まず，保育所（通所型）10か所，保育所型認定こども園 1 か所，幼保連携型認定こども園（通所型）1か所，それら以外の児童福祉施設（母子生活支援施設 1 か所，児童養護施設 2 か所，いずれも居住型）のホームページ（HP）で避難訓練の記載について調査した．次に，2020 年 8 月～2021 年 3 月に，児童福祉施設に出向き，所長または職員，保育実習生から避難訓練についての意識や現状について聞き取り調査を行った．HP のテキスト情報は，KH coder（樋口，2020）を用いて共起ネットワークを作成し内容分析を行った．

表１　調査した児童福祉施設の種類，地域・地形の特徴．

Site	児童福祉施設の種類	地域	地形の特徴
1	保育所	滋賀県高島市	野上山地（稲荷山）のふもと
2	保育所	滋賀県東近江市	近江盆地の平坦地
3	保育所	京都府南丹市	川に挟まれた高台
4	保育所型 認定こども園	京都府亀岡市	半国山のふもと，本梅川の近辺
5	保育所	京都府亀岡市	亀岡盆地，犬飼川の近辺
6	保育所	京都府亀岡市	亀岡盆地の平坦地，少し高台
7	児童養護施設	大阪府茨木市	千里丘陵の高台
8	児童養護施設	大阪市港区	大阪湾に近い三十間堀川堤防のすぐ横
9	幼保連携型 認定こども園	京都市右京区	京都盆地の平坦地
10	保育所	京都市右京区	京都盆地の平坦地
11	保育所	京都市山科区	山科盆地の平坦地
12	保育所	京都市山科区	四宮川のすぐ横の山科盆地の平坦地
13	保育所	京都市山科区	山科盆地の平坦地
14	母子生活支援施設	京都市山科区	山科盆地の平坦地（少し高台）
15	保育所	京都市山科区	稲荷山のふもと

3．結果と考察

3－1．HP の情報

HP の避難訓練に関するテキスト情報の語と語の共起ネットワークの作図条件は最小出現数を 2，Jaccard 係数を 0.2 以上，互いに強く共起している語をグループごとに色分けとし，その結果を**図 2** に示した．得られた語数は 38，共起線数は 37，グループは 7 であった．

グループごとに検討した結果，次のことがわかった．1) 山科の消防署にて幼児の消防体験，2) 年間行事として毎月避難訓練，3)災害の事前の保育中に地震や火災消火の訓練，4) 職員に毎月の安全講習及び AED 対策

キーワード　防災，児童福祉施設，避難訓練，地形の特徴，地域の災害リスク
連絡先　　〒604-8456　京都市中京区西ノ京壺ノ内町 8-1　花園大学社会福祉学部児童福祉学科　ＴＥＬ075-277-0670

© Japan Society of Civil Engineers

の実施，5) 園児の防犯のため，惨事が起こらないような姿勢や安全な場所を職員が把握する，6) HP に避難訓練の情報の記載なし（児童福祉施設では毎月の訓練実施が義務付けられているので，記載しない施設があった），7) 暴風警報発令解除の場合，保育可能．

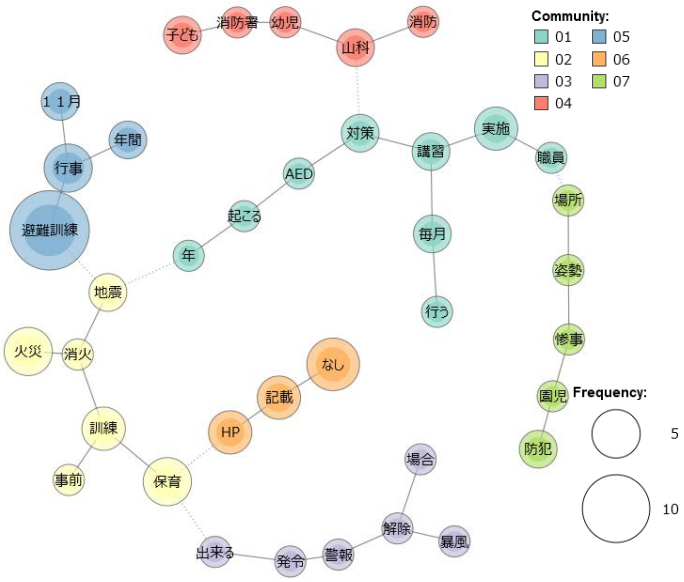

図 2 HP テキスト情報の語と語の共起ネットワーク．

3－2．聞き取り調査の結果

3－2－1．避難訓練の実施方法

施設の防災計画に従い，すべての児童福祉施設が法令順守で避難訓練を月に 1 回実施していた．児童福祉施設長の方針で，抜き打ち避難訓練を行っているところと，あらかじめ年間計画表に日にちを記載して周知してから行っているところが混在した．また，子どもの成長に合わせて，1 年の前半は日時を知らせ，後半は時間だけを抜き打ち，あるいは日時も抜き打ちとしている施設があった．また，乳児クラス（0～2 歳児）だけにあらかじめ知らせ，幼児クラス（3～5 歳児）は抜き打ち訓練とする施設もあった．保育所では午睡の時間を避けて訓練を行う事例もあった．

3－2－2．近年の災害や地形の特徴と避難訓練の施設独自の方針

周辺の地理・ハザードマップ，避難場所を把握していることがスムーズな避難につながる（天野，2017；田中，2017）とされている．また，乳幼児は避難に時間がかかる（鎌田，2015）ので，施設独自の工夫が必要である．そこで，近年の災害や地形の特徴を踏まえた施設の重点的な避難訓練について考察する．

図 1 の Site 8 の大阪湾に近い三十間堀川堤防沿いの施設，Site 12 の四宮川沿いの施設の職員からは，避難訓練についての施設独自のエピソードが紹介された．Site 8 では大阪湾に近いため，「津波の避難訓練として近くのマンション（避難ビル）に避難」することに留意して訓練する．また，Site 12 では，2013 年 9 月の台風 18 号の山科川支流の四宮川溢水による浸水被害時（京都府，2014）に子どもたちを建物の 3 階へ避難させた経験があり，避難訓練担当者 3 人が計画して抜き打ちで避難訓練を行う形をとっている．このように，地形の特徴と自然災害の経験から，避難訓練に対して施設独自の方針が設定されていた．

4．まとめ

1) HP の情報から，年間行事として毎月避難訓練を行い，保育時間中に地震や火災消火の訓練をして，職員には毎月の安全講習及び AED 対策を実施していることがわかった．また，惨事が起こらないような姿勢，安全な場所を職員が把握しており，暴風警報発令解除の場合には保育可能と情報発信していた．
2) 施設の立地している地形の特徴と自然災害の経験から，施設独自の避難訓練方針が設定されていた．

5．今後の課題

聞き取り調査のテキストマイニング分析を行い，地形の特徴，山や河川との距離，過去の災害事例，抜き打ち訓練の有無，施設独自の方針の相互の関連性を検討する．

6．謝辞

聞き取り調査にご協力いただいた児童福祉施設の方々，実習生に感謝申し上げます．

7．参考文献

・天野珠路（2017）写真で紹介　園の避難訓練ガイド，かもがわ出版，pp.96.
・樋口耕一（2020）社会調査のための計量テキスト分析―内容分析の継承と発展を目指して―第 2 版，ナカニシヤ出版，pp. 264.
・鎌田浩毅（2015）せまりくる「天災」とどう向き合うか，ミネルヴァ書房，pp.159.
・国土交通省　国土地理院（2021），https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html，（参照日：2021/03/06）.
・厚生労働省（2011）児童福祉施設最低基準.
・京都府 建設交通部 河川課（2014）平成 25 年台風第 18 号の豪雨による京都府内河川の状況について，https://www.kouiki-kansai.jp/material/files/group/3/1412209956.pdf，（参照日：2021/03/06）.
・田中浩二（2017）写真で学ぶ！保育現場のリスクマネジメント，中央法規出版，pp.128.

© Japan Society of Civil Engineers